

# 品川に飯田の拠点誕生

旧東海道沿い

# ブックカフェで情報発信



品川に誕生したブックカフェ「KAIDO」で飯田のPRイベント

KAIDOは空き店舗を活用し、北品川商店街協同組合や旧東海道品川周辺まちづくり協議会、地元のまちづくり会社「しながわ街づくり計画」などが協働で取り組む事業で、

書店とカフェが融合した交流の場。「旅と街道」をテーマに、全国各地の情報を発信する。1万5000冊の蔵書をそろえ、展示コーナーやイベントスペースもある。「こだわり

の旅」を求める30代女性が客層のメインター<sup>ゲット</sup>という。市と同協会は2027年のリニア中央新幹線の開業を見据え、起点駅となる品川を拠点とした首都圏へのPR・交流事業「南信州へおいでなんしょ！プロジェクト」を13年度から展開。品川の商店街における南信州の農産物の直売、首都圏在住の大学生でつくる「南信州サポーター」と協働したPR活動などに取り組んでいる。

「性が客層のマーケティング」を求める30代女性ゲットという。

市と同協会は2027年のリニア中央新幹線の開業を見据え、起點駅となる品川を拠点とした首都圏へのPR・交流事業「南信州へおいでなんしょ！プロジェクト」を13年度から展開。品川の商店街における南信州の農産物の直売、首都圏在住の大学生でつくる「南信州サポーター」と協働したPR活動などに取り組んでいる。

関係者間の交流が深まる中で、KAI DO事業への参画も決定した。市観光課はKAI DOを活用した①飯田市情報の提示（飯田への興味・关心の誘導）②ワークショップなど

東京都品川区の旧東海道沿いに今月上旬、飯田市や飯田観光協会が首都圏の新たな情報発信拠点に位置付けるアツク力フェ「KAIDO」が誕生した。店内のスペースを借り、主には人の魅力に焦点

を担当した市の情報展示やPRイベントを開催。利用客たちに飯田への関心を寄せてもらう。来訪ツアーも企画し、飯田のファンや応援団、交流人口の拡大につなげていく。

PRイベントの開催（飯田の日常イメージの喚起）③実際に飯田を訪れるツアーバイブルー的な飯田ファン・トナーファン（トナーブルーム）——のイクルを描き、市と信州の取り組みによる首都圏の共感・協働者を獲得してみたいとしている。

「旅」を求める30代女性が客層のメインター<sup>ゲット</sup>という。市と同協会は2027年のリニア中央新幹線の開業を見据え、起点駅となる品川を拠点とした首都圏へのPR・交流事業「南信州へおいでなんしょ！プロジェクト」を13年度から展開。品川の商店街における南信州の農産物の直売、首都圏在住の大学生でつくる「南信州サポート」と協働したPR活動などに取り組んでいる。

PRイベントの開催（飯田の日常イメージの喚起）③実際に飯田を訪れるツアーや、的な飯田ファン・ボランティアづくり）——のイクルを描き、市と信州の取り組みによる首都圏の共感・協働者を得てみたいとしている。 本年度の店舗内資料として、市は18

「旅」を求める30代女性が客層のメインター<sup>ゲット</sup>という。市と同協会は2027年のリニア中央新幹線の開業を見据え、起点駅となる品川を拠点とした首都圏へのPR・交流事業「南信州へおいでなんしょ！プロジェクト」を13年度から展開。品川の商店街における南信州の農産物の直売、首都圏在住の大学生でつくる「南信州サポーター」と協働したPR活動などに取り組んでいる。

PRイベントの開催（飯田の日常イメージの喚起）③実際に飯田を訪れるツアーや地元的な飯田ファン・ボランティアづくり）——のイクルを描き、市と信州の取り組みに対する首都圏の共感・協働者を獲得してみたいとしている。本年度の店舗内集料として、市は18万

A black and white photograph of a wooden bookshelf. The top shelf holds several framed black and white photographs, some showing people and others landscapes. A large, unframed landscape painting of a city at dusk or dawn is propped up against the top shelf. Below, the shelves are filled with books and more framed photos. The lighting is warm and focused on the shelf.

宋史卷四百七十一

や職人の写真とメツセージ、市にちなんだ写真集や書物、伝統工芸の水引のオブジェなどが並ぶ。飯田にちんだ商品の販売もしている。

—飯田のどんなど—る  
に関心を持つたか」の  
質問には「焼肉」「人と  
のふれあい」などの回  
答が寄せられた。「行  
ったことがないので、  
今回をきっかけに夏休

6日のオープニングイベントには市の関係者らも出席した。夜にはPRイベント「飯田人と語らう夕べ」が店内で開かれ、利用客ら15人が参加。同市出身の歌手の小沢亞貴子さんや市内のパリスト、市職員らと会話を楽しみ、飯田の魅力や味覚などに触れた。

アンケートのうち

みの旅先の一つとして  
考えたい」(品川区40代  
女性)、「地元愛がある  
皆さんのが素敵。東京出  
身者としてうらやまし  
い」(同30代女性)の声  
もあつた。